

一 般 質 問 発 言 通 告 内 容

代表第 1 号 氏 名 佐藤 悟

質 問 項 目 No. 1	施政方針について	備 考
要 旨	(1) 激動の時代における市政運営について 市制施行 70 周年の節目の年を迎え、明るい未来に向けた市政運営を問う。 (2) 令和 7 年度予算について ア 財政運営の厳しさが増す中で、過去最大の予算規模となった要因について問う。 イ 重点施策について問う。	

質 問 項 目 No. 2	市制施行 70 周年について	備 考
要 旨	(1) 主要事業について 市民の愛着・誇りを醸成するための記念事業について問う。 (2) 健康について 人生 100 年時代を見据えた市民の健康づくりについて問う。 (3) 環境について 持続可能な社会を目指すための環境に関する取組について問う。	

質 問 項 目 No. 3	まちづくり推進計画について	備 考
要 旨	(１) こども夢・チャレンジNo.1 都市の実現について ア 子どもたちをまち全体で応援する取組について問う。 イ 新たな時代を生き抜くための学びについて問う。 ウ 将来を見据えた教育環境の整備について問う。 (２) 健康・支え合い循環都市の実現について 高齢化がますます進展する中、地域での支え合い活動について問う。 (３) 魅力・活力創造都市の実現について ア 地域経済の活性化のための取組について問う。 イ 魅力と活力ある中心市街地の創出のための取組について問う。 ウ 夢と希望あふれる東部地域の振興のための取組について問う。	

質問項目 No. 4	市民生活を支える重要事業について	備考
要旨	(1) 地域の重要なインフラである道路・公共交通について - ア 道路陥没事故を防ぐための下水道の安全管理について問う。 - イ 産業都市として円滑な物流・通勤の確保に向けた道路渋滞への対策について問う。 - ウ 運転手不足など、公共交通を取り巻く状況が厳しさを増す中、こまき巡回バス「こまくる」の今後について問う。 (2) 地域共生社会の実現について 誰もが役割を持てる地域共生社会の実現に向けた取組について問う。	

質 問 項 目
No. 1

施政方針について

備考

要

III]

- (1) 令和7年度の予算編成について
市長は近年、財政運営が厳しく予算編成が大変と言われているが、現状と対策について問う。
ア 現状を問う。
イ 今後の財政見通しについて問う。
- (2) 重点施策について
厳しい財政状況下ではあるが、そんな中でも市民サービスを低下させず、市制70周年記念事業も華やかに実施する予定など、かなり苦慮されたと思う。予算編成にあたり令和7年度の重点施策を問う。
- (3) 市長の市政への想いを問う。

[illegible]

質問項目 No. 3	教育について	備考
要旨	(1) 小中学校の再編について 現在、全国的に少子化が進み、児童生徒数が減り、学級数が減り、学校自体も統合されるなど再編が進んでいる。春日井市では、廃校となった学校をグループふじとうという児童館や交流センター、地域図書館として使用し親しまれている。また先日、会派行政調査で伺った八尾市では廃校を八尾市教育センターとして不登校児童生徒支援や教職員の研修等の場として有効活用されていた。本市も小中学校再編の方針が打ち出されたが今後の動向について問う。 - ア 再編計画を問う。 - イ 課題を問う。 - ウ 各学校や地域での説明会実施は必須だが予定を問う。 - エ 再編された場合、遠方となる児童生徒の通学手段を問う。 - オ 再編での弊害対策で学校自由選択制導入の考えを問う。 - カ 再編され廃校となった学校跡地の利用予定を問う。 - キ 市内のフリースクールとの連携協力体制を問う。 - ク 教育長の所見を問う。 (2) いじめ対策について G 7 各国の 10～19 歳の死因の 1 位が自殺なのは日本だけだ。小中学生の自殺者は令和 5 年に 513 人となり、いじめは時代が変わっても SNS 等、形を変え、より陰湿で巧妙になっている。子どもの命を守る、居場所づくりは大切だ。会派行政調査で、いじめ対策の先進地の寝屋川市を視察したが、課を超えて市長直属の監察課を作り、教育・行政・法的アプローチでいじめの早期発見・予防・対策を実施し条例も制定し、いじめの早期発見に努め教員の負担も軽減された。本市においても、いじめゼロをめざし、取組を実施すると良いと思う。 - ア 昨今のいじめ件数を問う。 - イ 昨今のいじめの具体的事例を問う。 - ウ いじめに対して本市の対応マニュアルを問う。 - エ 本市も教育委員会以外で監察課を作り実効性を高める考えはないか問う。 - オ 寝屋川市はいじめ通報チラシを毎月配布して実績をあげているが本市も実施すると良いと考えるが所見を問う。	
	※(3)へ続く	

質 問 項 目 No. 3		教育について	備 考
要 <			

質問項目 No. 4	インフラ整備について	備考
要旨	埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故は全国どの自治体でも起こり得る事故であり、本格的な復旧までに３年のはかると言われている。 これを機に、道路施設、上下水道の修繕など、本市においても早急に市内危険箇所の調査や老朽インフラの整備・見直しが必要だ。また、鉄道、バスも大事なインフラであり、安心安全な、市民が利用しやすい、整備が必要だ。 (１) 老朽インフラ等への対策について - ア 緊急自主点検が必要と考えるが考えを問う。 - イ 危険箇所が見つかった場合の対策を問う。 - ウ 本市には約 1,000 km の水道管があり、小牧市水道事業ビジョン・経営戦略では、計画期間 10 年で平均が年 1% 以上の更新を目標としているが、これは更新を完了するのに 100 年かかると思うが、現在の進捗状況を問う。 - エ 修繕計画を実施した場合、1 年で 10km 計算になるが想定される予算を問う。 - オ 修繕計画は実質厳しく、見直しが必要と思うが、どのように 100 年 1,000 km 計画を実現していくのか所見を問う。 - カ 道路施設のインフラについて、今後の具体的な修繕計画を問う。 - キ 本市には亜炭鉱廃坑があり、インフラ整備のためには陥没にも注意を払う必要があると思うが、亜炭鉱廃坑への対応等について問う。 - ク 民間路線バスの利便性向上のため、道路渋滞対策が必要だが、取組を問う。	

質 問 項 目 No. 1	施政方針について	備 考
要 旨	(１) 市政運営について 少子高齢化・人口減少の社会情勢の中で、本市の課題解決に向けた持続可能なまちづくりについて伺う。 (２) 都市ヴィジョンに基づく新事業創出について 本市は、日本最大級のオープンイノベーション拠点である「ステーションＡｉ」に入居されたが、今後の展開について伺う。	

質 問 項 目 No. 2	予算編成について	備 考
要 旨	(1) 予算編成について 厳しい財政状況の中、一般会計予算では過去最大規模の予算を計上されたが、その理由について伺う。 (2) 介護支援専門員支援事業について 介護支援専門員等研修受講料補助制度の創設について伺う。 (3) 介護予防把握事業について A I が、フレイル状態を検知する「eフレイルナビ」の導入について伺う。 (4) 5歳児健康診査事業について 言語理解や運動能力が向上し社会性が発達してくる5歳児に 対しての健康診査事業について伺う。 (5) 体育館空調機設置事業について 市内小中学校の体育館に空調機を設置する計画についてその 内容について伺う。 (6) 業務効率化ツール導入事業について 業務効率化向上に向けた、システム導入について伺う。	

質 問 項 目 No. 3	多様化する福祉ニーズへの対応について	備 考
要	(1) 重層的支援体制整備事業について ア 包括的相談支援事業の取組について伺う。 イ 参加支援事業の取組について伺う。 ウ アウトリーチ等を通じた継続的支援事業の取組について伺う。 エ 地域づくり事業の取組について伺う。 オ 多機関協働事業の取組について伺う。	
旨	(2) 地域福祉の相談・調整役である地域支え合い推進員について ア 配置状況について伺う。 イ 活動状況を伺う。	

[illegible]

[illegible]

質問項目 No. 2	国民健康保険について	備考
要旨	(1) 令和7年度以降の保険税率等の見直しについて - ア 具体的な見直し内容について問う。 - イ 所得別に令和7年度税額はどのようになるのか問う。 - ウ 18歳までの均等割を廃止すべきと思うが、市が負担するといくらかかるのか問う。 - エ 令和11年度には、1世帯あたり平均保険税が1.4倍になると思うが市民負担が大きすぎると思う。見解を問う。 (2) 被保険者証について - ア 短期被保険者証が廃止になったがどのように対応したのか問う。 - イ 資格証明書が廃止になったがどのように対応したのか問う。 - ウ いったん医療費の10割分を負担する「特別療養費」の対象者を増やさないようにする必要があると思うが、見解を問う。	

質 問 項 目	No. 3		備考
		子育て支援について	
要旨		(1) 保育園について - ア 令和7年度、保育園等の利用申請者数について問う。 - イ それぞれ年齢別の内訳を問う。 - ウ 保育士不足の解消のため、令和2年度の公立保育園児童数を基準に正規保育士45名を5か年で採用していく計画であったが解消できたのか問う。 - エ 今後の正規保育士の採用計画について問う。 (2) 県の第2子保育料無償化について - ア 対象人数を問う。 - イ 影響額について問う。 - ウ その財源も使い、3歳児から5歳児の給食費を無償化すべきではないかと思うが見解を問う。 (3) 学校給食の無償化について 完全無償化に向けた市の計画を問う。	

質問項目 No. 4	高齢者支援について	備考
要 旨	(1) 買い物支援の現状と課題について - ア 市と社協と民間事業者との協定で実施している移動販売の現状をどう評価しているか問う。 - イ 今後地域の要望にどう応えていくのか問う。 (2) 高齢者移動支援の現状と課題について - ア 高齢者タクシー料金助成事業の利用対象者を見直すべきと思うが見解を問う。 - イ 住民主体の移動支援を今後どのように広めていくのか問う。 - ウ 移動支援をさらに充実するために、市と社協が協力して主体的に進めるべきと思うが、見解を問う。	

質 問 項 目	No. 1	図書館の充実について	備　考
要 旨	令和３年３月２７日にグランドオープンした小牧市中央図書館は、多くの人でにぎわっています。 私も利用しますが、市が責任をもって直接管理運営している点について良かったとつくづく感じているところです。 最近はＳＮＳ等で情報が溢れ、何が真実なのかという判断が難しいこともあります。このような世の中だからこそ情報元が確かである新聞や本の必要性が求められていると思います。 図書館の魅力を紹介しつつ、地域の公共図書館と学校図書館の更なる充実を期待するものです。 (１) 中央図書館について - ア 令和３年度からの来館者数を問う。 - イ 令和３年度からの貸出点数を問う。 - ウ 令和３年度からの貸出利用者数を問う。 - エ 令和３年度からのレファレンス件数を問う。 - オ 現在の蔵書数を問う。 - カ 電子書籍の利用状況を問う。 - キ 選書の方法を問う。 - ク 図書館司書の人数を問う。 - ケ 図書館司書の業務内容を問う。 - コ 業務委託職員の人数を問う。 - サ 業務委託職員の業務内容を問う。 (２) 学校図書館について - ア 運営方法を問う。 - イ 学校図書館司書の配置状況を問う。 - ウ 学校図書館司書の業務内容を問う。 - エ 学校ごとの書籍購入費配当基準を問う。 - オ 新聞紙の配置状況を問う。 - カ 学校図書館の充実について市の見解を問う。		

イ 令和8年4月より、PFOS・PFOAについては、「水質管理目標設定項目」から「水質基準項目」に格上げされる予定である。今後本市においても、原水の出口6か所それぞれについて、PFOS・PFOA検査を実施する考えはないか問う。

質 問 項 目 No. 1	安心して搾乳ができる環境づくりについて	備 考
要 旨	(1) 安心して搾乳ができる施設の普及について 公共施設をはじめ多くの施設において、必要な方が安心して搾乳できる環境づくりに取り組むべきと思うが、ご所見を伺う。	

質 問 項 目 No. 2	女性の健康づくりに関する取組について	備 考
要 旨	(1) 女性の健康課題と取組について ア 課題をどのように認識しているか伺う。 イ 市の取組について伺う。 ウ 「女性の健康週間」の取組について伺う。 (2) 更年期やPMS（月経前症候群）に関する支援体制について 現在の市の取組について伺う。 (3) 市職員における制度や相談体制について ア 女性特有の健康課題に対する市における制度について伺う。 イ 相談体制について伺う。 (4) 経済産業省が推進するフェムテックの促進について フェムテックとは、生理や更年期など女性特有の悩みや健康課題をテクノロジーで解決へと導く製品やサービスを指すが、働く女性のパフォーマンスの維持、向上のためにフェムケア製品やサービスの活用が期待されている。 ア フェムテックに対する市の考え方について伺う。 イ 今後の取組について伺う。	

- 21 -

質 問 項 目
No. 1

ライフプラン形成を支える金融リテラシーの向上について

備考

労働環境の変化や物価上昇、少子高齢化による公費負担の増大など、不確実性が増す社会の中で、安定したライフプランを形成し将来のリスクに備えるためには、世代を問わず金融リテラシーの向上が不可欠である。生活の安定だけでなく、自分らしい生き方や夢に挑戦できる環境を整えるためにも、折に触れた市民一人一人のライフデザイン・ライフプラン形成支援を一層充実させ、教育機関だけでなく自治体や企業、地域が一体となって金融リテラシー向上支援体制を整備していくことが求められる。

(1) 各年代に応じたライフデザイン・ライフプラン形成支援について

ア 子どもや若者への取組の現状を伺う。
イ 小中学校での取組を伺う。
ウ 若年世代以降の取組を伺う。

(2) 各年代に応じた金融リテラシーの向上について

ア 小中学校での金融リテラシー教育の現状について伺う。
イ 各年代に応じた金融リテラシー向上のための取組について伺う。

要

III

質 問 項 目 No. 1	ウォーキングアプリ alko（アルコ）について	備 考
要 旨	ウォーキングアプリ alko（アルコ）は平成 28 年度から実施している「健康いきいきポイント事業」の一環として、市が独自に開発したスマートフォン専用のウォーキングアプリであり、市民や市内在勤者の多くが利用され、とても喜ばれている素晴らしい事業であると感じています。 alko には楽しく毎日ウォーキングを続けるため 1 日 5,000 歩以上で 10 ポイント獲得できる機能があります。しかし、毎年 1 月から 3 月まではそのポイントが付与されず、市民の不満の声を伝えています。改善されていないのが現状です。 （１）alko の現状について ア 利用者数の推移を伺います。 イ ポイント交換者数の推移を伺います。 ウ 事業費の推移を伺います。 エ 事業の効果をお伺いします。 （２）alko の課題について ア 毎年 1 月から 3 月までポイントの付与がされない問題の対策をお伺いします。 イ アプリに対するその他の課題をお伺いします。 （３）alko の今後の取組について ア 利用者の魅力度・利便性向上に向けた取組をお伺いします。 イ アプリの単独事業ではなく、健康生きがい支え合い推進部の他の事業との連携が必要だと思いが所見をお伺いします。	

質 問 項 目 No. 2	大草地区の歩道整備について	備 考
要 旨	令和 6 年第 3 回定例会の一般質問「大草地区の道路整備について」において、「都市計画道路桃花台高蔵寺線の事業が中断されている、県道荒井大草線はすでに用地取得した部分について歩行者の安全確保を図るため平成 26 年度に暫定的な歩道整備を実施するとともに、買収の申出があった用地は今年度も買収を実施している」と答弁を頂いております。 しかし、平成 26 年度から約 10 年たった今でも県道荒井大草線では、大型車（トラック・バス）の通行が多く、道路幅が十分でない状況でも歩道が未整備であり、特に児童生徒（春日井方面通学の高校生）と高齢の通行者が危険にさらされているのが現状です。 （１）県道荒井大草線の通行者の安全確保について ア 県道荒井大草線の未整備で危険な歩道整備の進捗を伺います。 イ この危険な歩道の未整備箇所において通行者の安全を確保するために、小牧市から愛知県に対し行う今後の取組について伺います。	